

授業の中で PC 上にファイルを保存することがあると思いますが、環境により利用できる保存場所が違います。保存場所の特性や注意点などについても説明をしますので、参考にしてください。

I. ネットワークドライブを使用する場合（大学内 PC）

大学内の PC 教室でログインをして利用する場合、自動的にネットワークドライブが登録されます。学生用のネットワークドライブは、L ドライブと Z ドライブの 2 つです。ネットワークドライブに保存した情報は、別の PC を使った場合でも同様に利用することができます。

C ドライブ	一般的なローカルドライブ。システム情報やプログラムなども入っている。自分用のデータは、C ドライブ上にある、フォルダに格納します。大学の PC では、C ドライブに保存したデータは、 電源を切ると削除 されます。また、一般的な PC でもローカルドライブに保存した情報はそのままでは、他の PC で利用することはできません。 ストレージを増設することで、C ドライブ以外にも D ドライブ、E ドライブと増えていく。光学ディスク（CD 等）や USB メモリなどのリムーバブルメディアも接続することで、ドライブレターが割り振られます。
L ドライブ	共用のネットワークドライブで、大阪成蹊大学の関係者全員が利用することが可能です。こちらで、授業資料の配布や課題の提出を行ったりする場合があります。ここに保存したデータは、第三者によって、閲覧・変更・削除が可能であるため、保存するデータの目的を考えて利用する必要があります。
Z ドライブ	個人用のネットワークドライブで、一人ずつ別々の場所が用意されています。授業事にフォルダを作成するなどして、各自で管理を行ってください。このドライブの情報は、本学に所属する間は利用を続けられますので、学年が上がっても利用できます。

II. ネットワークストレージを使用する場合（要ネットワーク環境・アカウント）

ネットワークストレージ（「クラウド」とも）とは、インターネット上で情報の保存ができるサービスのことです。大学では、Google アカウントが付与されていますので、Google Drive というネットワークストレージサービスを利用することができます。（Classroom で利用したファイルは、基本的に Google Drive で管理されています）

無料のサービスもありますので、登録をすることでネットワークストレージの利用が可能です。ネットワークストレージであれば、インターネットの接続環境があれば、**どの端末からでも利用できる**のが利点ですが、利用するためには**通信料**が発生する場合があります。利用するためにアカウントの ID・パスワードを使って認証を行いますので、ID・パスワードを忘れると利用できなくなりますし、パスワードが流出すると他者に情報が漏洩してしまいます。また、サービス会社がサービスを終了した場合は、利用できなくなります。

Google Drive の使い方

1. ブラウザ上で Google Drive のアイコンをクリックする

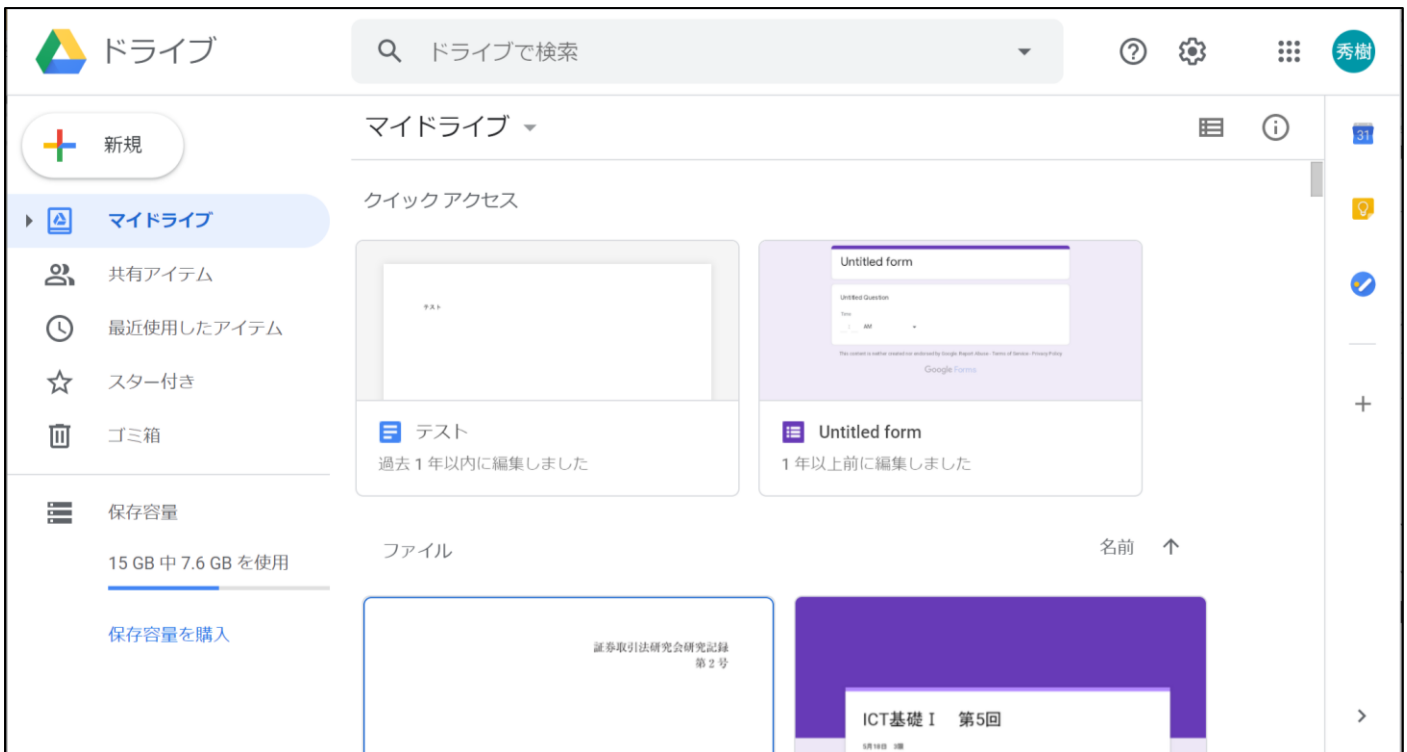


ドライブ

2. ログインを行う（ブラウザがログイン情報を保持している場合は必要ない）

※アカウントが複数ある場合は、アカウントの管理をきちんと行いましょう。異なるアカウントでは、表示される情報が異なります。

3. 画面にドライブ情報が表示されます。



ダウンロードする場合		アップロードする場合
<div data-bbox="111 974 510 1635"> <ul style="list-style-type: none"> プレビュー アプリで開く 共有 共有可能なリンクを取得 ファイルの場所を表示 ドライブにショートカットを追加 指定の場所へ移動 スターを追加 名前を変更 コピーを作成 不正行為を報告 ダウンロード 削除 有効な候補ではありません </div>	<p>ダウンロードしたいファイル上で右クリックを押すと表示されるプルダウンメニューから、「ダウンロード」を選びます。</p> <p>画面左下にダウンロード情報が表示されますので、フォルダを表示して、ファイルの移動などを行います。</p>	<p>表示されている画面上にエクスプローラーを使って、ファイルをドラッグ&ドロップすることで、垂 p@ぶろどができます。</p> <p style="text-align: center;">アップロードとダウンロード</p> <p>ネットワークでネットワーク側にデータを送信することをアップロード (Upload)、ネットワークから使用端末にデータを送信することをダウンロード (Download) といいます。</p>

その他のネットワークストレージ

Microsoft 社の OneDrive、Apple 社の iCloud など

それぞれ、利用方法に特徴がある場合もありますので、各自で判断して利用してください。

III. リムーバブルメディアを使用する場合

リムーバブルメディアは、PC の固定されておらず、持ち運んで他の PC でも利用できる記憶媒体の総称です。USB メモリや SD カード、CD-ROM などがこれに当たります。HDD でも USB 接続可能なものもあります。最近では、ほとんどのリムーバブルメディアは、PC にセットすると自動的に利用できるようになります。利用を終了するときには、すべてのファイルを閉じて、エクスプローラー上でリムーバブルメディアのドライブアイコンを右クリックして「**取り出す**」を選ぶと、取り外しても大丈夫な状態になります。この手続きを行わなかつ

た場合、ファイルの破損などが起こることがありますので注意しましょう。

リムーバブルメディアは落としてしまうと、簡単に第三者に使われてしまいますので、取り扱いの注意はもちろん、扱うデータについても気を付けましょう。(個人情報などは避ける) リムーバブルメディアは、まれに故障することがありますので、定期的にバックアップを取るようにしましょう。

IV. ローカルドライブを使用する場合 (大学内 PC 以外)

先の説明の通り、大学内の PC の場合は、ローカルドライブの情報は、削除されますので利用できません。

ローカルドライブは PC 自体に固定されている記憶媒体ですので、その PC を自分専用で利用できる場合は、非常に便利に利用できます。また、通常はローカルドライブのデータは、暗号化されていますので、装置だけを盗まれてもデータを読み取れないようになっています。ローカルドライブには、利用者が使うための領域と、PC 自体が使うための領域があり、標準では「ドキュメント」が利用者用のフォルダになっています。他にも、ネットワークからダウンロードしたファイルを格納するための領域などが準備されていますが、利用者が変更することもできます。

家庭でも PC を複数利用者が利用している場合もあると思いますが、ユーザー名を分けている場合は、これらの領域もユーザー毎に分けられています。

情報リテラシー 1 のテキストで指定されている『ドキュメント』への保存は、この方法を指しますが、皆さんの利用環境に応じて、別の場所も利用しましょう。

大学以外でネットワークドライブを利用する方法

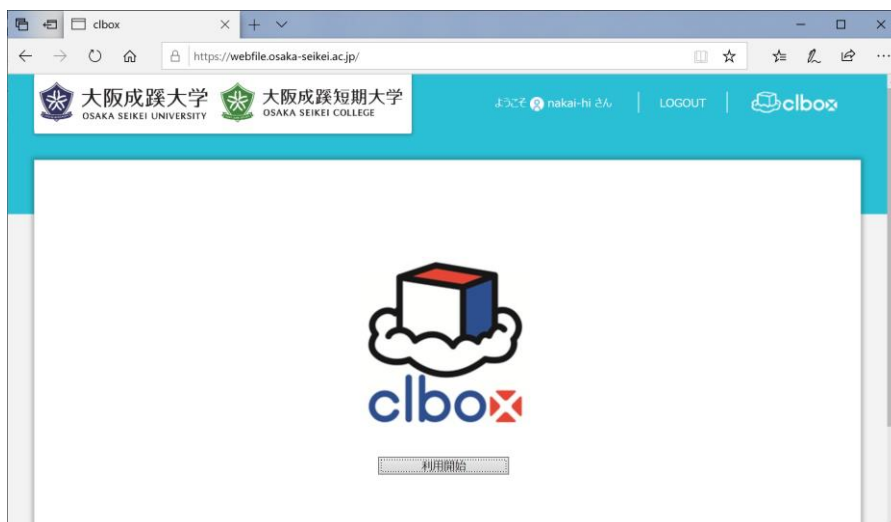
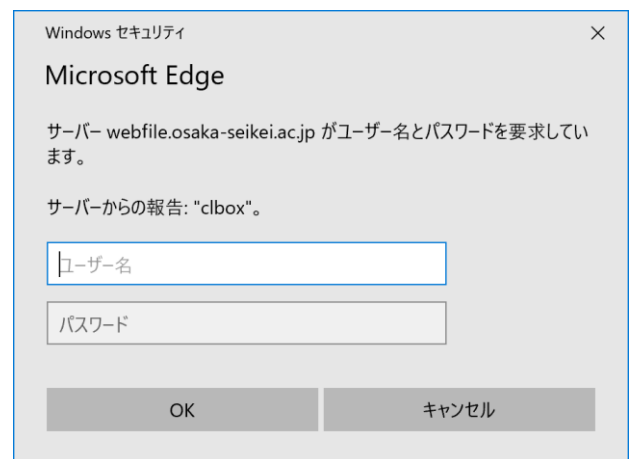
大学で PC を利用した際にネットワークドライブに保存したデータや授業でネットワークドライブに資料が提供されている場合、大学以外からは利用できないことになりますが、学外からネットワークドライブにアクセスする方法が用意されています。

1. Web ブラウザから以下の URL にアクセスをしてください。

<https://webfile.osaka-seikei.ac.jp/>

2. サイトにアクセスするために利用者確認が行われますので、大学システムのユーザー名・パスワードを入力してください。(ポータルシステムのユーザーID・パスワードと共通です。)

3. 利用開始画面が表示されますので、「利用開始」をクリックしてください。



4. 利用開始をすると、ネットワークドライブ内の情報が表示されます。

※画像では、ドライブ名にSドライブも表示されていますが、これは教職員用のため、学生の方には表示されません。



5. ファイルのダウンロード

フォルダ内情報で表示されているファイルをダブルクリックするか、リストをチェックして操作ボタンの「開く・保存」を選ぶと、ファイルのダウンロードができる。※複数のファイルを選んだ場合は、圧縮ファイル (zip) になります。



6. ファイルのアップロード

ローカルドライブなどに保存しているデータをフォルダ内情報が表示されている領域にドラッグ&ドロップでアップロードできます。